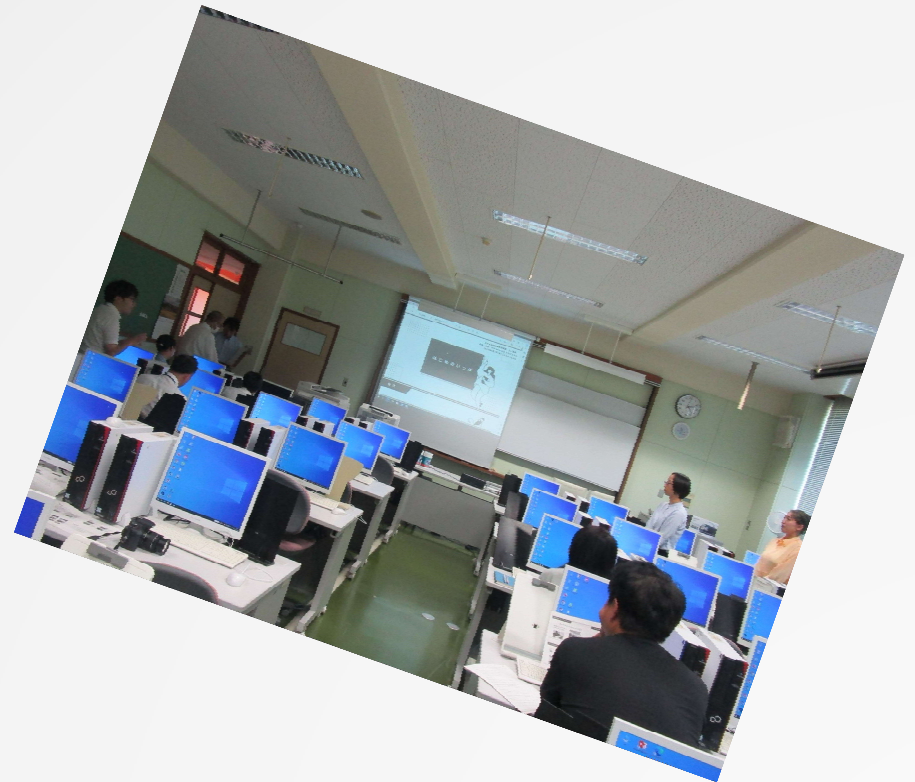


「地域コーディネーターに係る 講演会」



令和5年9月7日(木) 13:25~

○地域コーディネーターに係る講演会 開催内容

◎主 旨：地域に関わることで探究的な学び(正解のない課題に、チームで向き合う)に対する理解を深め、地域と学校がそれぞれの立場で自分事として取り組む意識を向上させる。

◎日 時：令和5年9月7日(木) 13:25~15:50

◎会 場：北海道上ノ国高等学校 コンピューター室
(檜山郡上ノ国町字大留351番地)

◎講 師：元上士幌町教育委員会生涯学習課 地域協働専門員
明石 穂乃香 (あかし ほのか) 氏

北海道上士幌高等学校卒業生 現名寄市立大学2年生
齊藤 香暖 (さいとう かのん) 氏

◎参加者：上ノ国高等学校教職員
地域探究学習に関わる地域の方々

○講義① 「生徒のための地域と学校の協働」

講師：明石 穂乃香 氏

- 地域と学校が関わることのメリットの1つ
→ 子どもたちの成長や人生の選択肢を増やすことができる
- 高校生の目線で地域のヒト・モノ・コトをつなぎ、新たに価値を見出す、上士幌高校発の企画を実施
→ 道の駅などとコラボし、商品を開発・販売。生徒の目の色が変わり、学校も次年度以降の事業実施に意欲的になった。
- 生徒のボランティア参加数や入学者数も大幅に増加
- 卒業後も、上士幌町に関わり続ける人が多い
→ たくさんの地域との関わりがあったから



○講義風景② 「はじめのいっぽ」 講師：齊藤 香暖 氏



- 「保護者に自分の自由な時間を提供したい」
→マイプロジェクトのはじめのいっぽ
- 地元企業、生産者の協力のもと、地元食材を使用したカレーライスを小学生がつくるイベント「かみ食カレーライスをつくっちゃお！」を開催
→地元食材の魅力を知る、子どもと高校生を結ぶきっかけに
- イベント後、参加した小学生が積極的に家事を手伝うように
→はじめのいっぽの達成
- 成長して上士幌町に戻り、上士幌町へ恩返しがしたい

○質疑応答①

- ・ 齊藤さんの思う上士幌町への恩返しとは？

→(齊藤氏)成長して上士幌町に戻ることが、一つの恩返しだと思っている。戻ることによって、私の生活や体験談等が伝わると思っているので、一番最初の恩返しは上士幌町に戻ること。

- ・ 地域の方と関係性を構築する中で気をつけていたことは？

→(明石氏)日々のコミュニケーションの中で得た情報を蓄積し、つなげていくことを意識してきた。赴任してきたばかりの先生は上士幌町のことをよく知らない人もいたので、これまで得た情報を共有し、関係性を築いていった。

○質疑応答②

- ・ 上士幌高校で実施していた上高マッチングの実施体制や、コーディネーターの方がどのように関わっていたのかをお伺いしたい。
 - (明石氏) 上高マッチングは、ライフデザインという専門科目で行っているなので、授業は家庭科の先生が担当し、内容の調整をコーディネーターの私が行っていた。その他の探究学習については、主に担任の先生方が担当している。
- ・ マイプロジェクトを進めていく中、明石氏にいただいた助言等で、参考になったものがあればお伺いしたい。
 - (齊藤氏) 自分の考えについて、それがうまくいかなかった場合はどうするのかという視点の方向性をいただいた。自分の想像を壊してくれる感じが一番助けられた。